

新任の医師を紹介します

2016年2月から、循環器内科の常勤として伊藤 重範^{いとう しげのり}医師が就任しました。医師を志したきっかけから最近のマイブームまでお聞きしました。

Topic



いとう しげのり
伊藤 重範 医師（循環器内科）

名古屋市立大学出身
循環器内科専門医、内科専門医、医学博士、産業医

— 当院の印象はいかがですか。

伊藤：遠くの山を見渡せる立地や建物のデザインが素晴らしく、また、広く清潔な病室や廊下、随所に配置された柔らかな色彩とタッチの絵画など、患者さまが過ごしやすい環境だと感じました。職員のおいさつや笑顔、患者さまへの声かけが徹底されていると感じました。

— 先生の専門や得意な専門分野は何ですか。

伊藤：大学の陸上部で長距離をやって以来、ランニングが趣味で、フルマラソンや富士登山競走（※1）も走りました。元々、スポーツ医学に興味があり、整形外

科か循環器内科に進もうと思っていました。麻酔科で全身管理を学んだ後に内科に進み、循環器内科でカテーテル治療を専門に急性期医療に携わってきました。ここ数年は心臓病患者に対する運動療法（心臓リハビリ）にも興味を持っています。学生時代の思いがここ三九朗病院で実現できることを期待しています。



※1 富士登山競走：2016年に第69回を迎える、富士山のふもと「富士吉田市役所前」から山頂までの21km標高差約3,000mのコースを走る大会

— 三九朗病院での先生の目標は？

伊藤：専門知識を生かしながら、生活習慣病や心臓病の方に運動療法を積極的に取り入れていきたいです。心臓病の方にとって運動は避けるものでなく、適切に行えば心臓の働きや予後が改善します。

— ご出身はどちらですか。

伊藤：福井県のあわら温泉の近くの旧金津町で生まれ、犬山と名古屋で育ちました。

— 医師を志したきっかけは？

伊藤：中3の冬に突然医師になろうと決心したのを覚えています。人間にとって一番大切な命に関わ

る職業につきたいと思ったのと、ファンだった北杜夫（※2）の影響もあるかもしれません。

— 最近のマイブームは？

伊藤：ノルウェーです。一昨年に心臓リハビリの勉強に行ってからすっかりその土地と人のファンになりました。物価が高いですが、何度でも行ってみたいです。

— 読者の皆さんへのメッセージをお願いします。

伊藤：私を見かけたら気軽に声をかけてください。三九朗病院と地域の皆さまの健康のために微力を尽くしたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

※2 北杜夫：作家、精神科医。代表作は『楡家の人びと』『どくとのマンボウ航海記』